

【専門教育科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護管理論		NSP44_009	選択	2	4	前期
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
伊丹 幸子		304	s.itami	月曜日 12：10～13：00		
授 業 の 目 的 ・ 概 要		公衆衛生看護の場で、地域住民のより良い健康と生活・健康危機回避に向け、人・物・予算・情報・組織等がどのように管理・運営されているか学習する。また、保健師の力量を高めるための自己研鑽・研究等の仕組みを理解する。公衆衛生看護管理の意義と機能を情報管理、組織運営管理、事業業務管理、予算獲得と管理、人事管理・人材育成、地域ケアの質保証などを通して理解する。健康危機管理システムと保健その役割について学ぶ。さらに、公衆衛生看護管理の実際を、事例を通して学び、公衆衛生看護管理の意義と機能について検討する。				
授 業 形 式 ・ 方 法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)	☒ 講義 ☐ 実習	☒ 演習 ☐ 実技 ☒ グループワーク ☐ その他 ()	☐ 反転授業 ☐ プレゼンテーション	☐ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク
学 習 上 の 助 言		公衆衛生看護学のまとめの科目です。今までに学んだ公衆衛生看護の各論について、復習して臨んでください。				
教 科 書		最新公衆衛生看護学 第3版 総論 各論1、各論2/編:宮崎美砂子、北山三津子/日本看護協会出版[3冊指定]				
参 考 書		公衆衛生看護学 第2版/編:上野昌江、和泉昌子/中央法規出版/ 保健師と放射線/編:保健師の活動と放射線研究班/真興交易 (株) 医書出版部/2018 保健師業務要覧：井伊久美子ほか/編集/日本看護協会出版 厚生 の 指 標 増刊 国民衛生の動向 2022/2023/厚生労働統計協会				
外 部 教 材						
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	公衆衛生看護管理の目的と特徴が理解できる。				NS(1)～(5)	
②	保健師活動における管理的な看護機能が説明できる。				NS(1)～(5)	
③	公衆衛生看護管理に求められる支援体制や管理の内容を説明できる。				NS(1)～(5)	
④	住民の健康維持増進、地域ケアの質の確保のための施策化について説明できる。				NS(1)～(5)	
⑤	施策・事業を運営するために必要な予算管理・人事管理など、業務管理の必要性が理解できる。				NS(1)～(5)	
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 公衆衛生看護管理の定義と特徴		講義、演習	今までに学んだ公衆衛生看護について復習する。		
2	保健師活動指針等法令における管理業務		講義、演習			
3	行政看護領域における看護管理機能		講義、演習	保健医療福祉の分野で看護職が働いているところを文献で調べ一覧表にする。		
4						
5	地域ケア体制作りと地域マネジメント		講義、演習 グループワーク	都留市の保健医療福祉の資源を整理する。		
6						
7	地域住民の健康づくり活動支援における保健師の管理機能(地域組織活動、ソーシャルキャピタルの醸成を含む)		講義、演習 グループワーク	都留市にある地域組織について調べる。		
8						
9	地域住民への健康支援活動 家庭訪問から施策への展開、保健師活動の特徴		講義、演習 グループワーク	提示した事例を読んで、健康課題の抽出を行う。		
10						
11	地域の健康危機に対する保健師活動①災害		講義、演習	国民衛生の動向にある健康危機管理体制を読む。		
12	地域の健康危機に対する保健師活動②感染症		講義、演習			
13	保健医療福祉サービスの質を保証するための保健師の公衆衛生看護管理機能		講義、演習	国民衛生の動向にある保健師によるサービスの管理について読む。		
14						
15	公衆衛生看護管理の実際・レポート作成 (市町村保健師の活動の実際：ゲストスピーカ)		講義、演習	レポート作成に伴う資料の収集を行う。		
試	定期試験 (筆記試験)					

【専門教育科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	20	0	10	10	100
総合力指標	知識・技術力	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	20	0	0	10	0	30
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験とする。保健師国家試験への出題問題も範囲とする。			メールで回答の解説を送付する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	公衆衛生看護管理について考察する。			レポートは後日コメントして返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①	✓	公衆衛生看護管理についてまとめる。			後日コメントして返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	日々の受講態度等を総合的に評価する。			問題が生じた場合は、個別に面接を行う。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員							
教 員 の 実 務 経 験		保健師として 35 年勤務し、県職保健師として県庁、保健所、児童相談所、市町村保健師業務を経験している。					
実践的授業の内容		保健所・市町村における行政保健師活動の実務経験を元に内容を構築し、公衆衛生看護管理について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。					
そ の 他		・ 毎回対面授業に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・ 学生の理解度に応じ、対面授業の速度や順番を調整する可能性がある。 ・ 大学から示されている感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・ 状況により Teams を使った同双方向型授業を実施する場合は通信容量無制限の Wifi 環境を推奨する。 ・ 今後、シラバス内容が一部変更となる可能性がある。 ・ 本科目は、保健師課程選抜者のみ履修可能である。					